

R7

中津市短期集中型サービスの紹介

(内容・委託基準・流れ等)

中津市の短期集中型サービス

	通所型サービスC	訪問型サービスC
対象者	廃用等により日常の生活動作が困難になった要支援（1. 2）認定者及び事業対象者	
目的	上記対象者に対し、短期集中的に運動器の機能向上のためにプログラムを中心に、栄養改善及び口腔機能の向上等のプログラムも実施し、日常生活の活動性を高め、生活行為の改善や自立した生活にむけ支援する。	
委託事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・川畷整形外科病院（通所リハと一体的に実施）・・・通所・訪問一体型・訪問単独型 ・リバランス（ジャストライトがゆめタウンで実施）・通所・訪問一体型 ・(株)HD.Labo・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・訪問単独型 	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・運動器の機能向上プログラム （毎回60分以上のメニュー） ・栄養改善プログラム（チェックリスト該当者への個別指導） ・口腔機能改善プログラム（チェックリスト該当者への個別指導） ※栄養・口腔ともに全体への講話を3か月間に1回実施 ・その他のプログラム <p>（定期的に体力測定や課題のある動きの動画を撮影し、C型ケア会議で報告する。）</p>	<p>通所型サービスC事業所のリハ職又は訪問単独の事業所のリハ職による訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅でのADL・IADLの評価 ・生活における課題の確認 ・環境整備や動作確認 <p>※必要時、管理栄養士・歯科衛生士派遣依頼</p>
利用期間	計画書に基づき、3か月間。必要があれば、C型ケア会議で判断し、最長6か月間までとする。	

中津市の短期集中型サービス

	(通所・訪問一体型)		(訪問単独型)
	通所型サービスC	訪問型サービスC	訪問型サービスC
利用頻度	週1回または2回利用	通所型サービス実施期間中に最高3回までとし、初回と最終の2回は、必ず実施。 最長6か月間となった場合の訪問は最大5回までとする。	1週あたり2回、3か月（最長6か月まで）を限度とする。
1回あたりの時間	120分以上	45分程度	60分程度
単価	週1回利用：23,200円/月 週2回利用：44,410円/月	1回：5,000円（交通費込み）	1回：6,600円（交通費込み）
本人負担額	週1回利用：2,320円/月 週2回利用：4,441円/月 （単価の1割相当） ※一定以上所得者は2～3割	なし	1回：660円（単価の1割相当） ※一定以上の所得者は2～3割
送迎サービス	必要な方は、送迎あり（本人負担なし） ただし、旧市内のみ。		
その他	・デイサービスや通所リハビリなどの通所サービス及び訪問リハビリなどとは併用不可		

中津市の短期集中型サービス 委託基準

	通所型サービスC	訪問型サービスC
人員基準	<p>管理者 1人 ※支障がない場合は、他の職務と兼務可能 理学療法士または、作業療法士 1名以上 看護職員 1名以上</p> <p>※健康状態の管理・緊急時の対応に支障のない範囲で、同一施設内の他職務と兼務可能 介護職員 利用者5～14名に1名以上 利用者15名以上に2名以上 管理栄養士、歯科衛生士（※言語聴覚士、看護師でも可） ※同施設内の他の職務と兼務可</p> <p>通所介護や通所リハ等の事業と同一単位で一体的に実施する場合は、介護給付の基準を満たした上で通所型サービスCの基準を満たす必要がある。</p>	<p>管理者 1人 ※支障がない場合は、他の職務と兼務可能</p> <p>理学療法士または、作業療法士 ※その他必要に応じて、管理栄養士や歯科衛生士等による訪問指導も実施可。</p>
設備基準	<p>安全に実施でき、各プログラムの実施に支障のない広さの部屋 業務実施に必要な設備と備品を備えること</p>	
運営基準	<ul style="list-style-type: none"> ・個別サービス計画の作成 ・運営規程等の説明・同意 ・従事者の清潔保持・健康状態の管理 ・従事者又は従事者であった者の秘密保持 ・安全体制・事故発生時の対応 ・廃止・休止の届出と便宜の提供 ・実施の記録とその保管 ・事業報告 ・関係機関との連携（ケアマネや医療機関との連絡） 	

基準に満たない部分は、市も支援しますので、事業運営に関心のある方は、まずはご相談ください。

R7年度の報酬単価

【事業所の報酬単価】

サービスの種類等		委託料	利用者負担額
訪問・通所 一体型	週1回通所(1割負担の月額)	20,880円	2,320円
	週2回通所(1割負担の月額)	39,969円	4,441円
	訪問型サービスC(1回)	5,000円	なし
訪問単独型	1回あたり(1割負担)	5,940円	660円
共通加算	初期加算(新規初回のみ)	15,000円	なし
	生活機能向上加算(終了時)※	20,000円	なし
	生活機能維持加算(終了後3か月)※	3,000円	なし
	山間部加算(三光除いた下毛)	片道1500円	なし
訪問・通所 一体型加算	栄養加算※R7新設	9,500円	なし
	口腔加算※R7新設	9,500円	なし

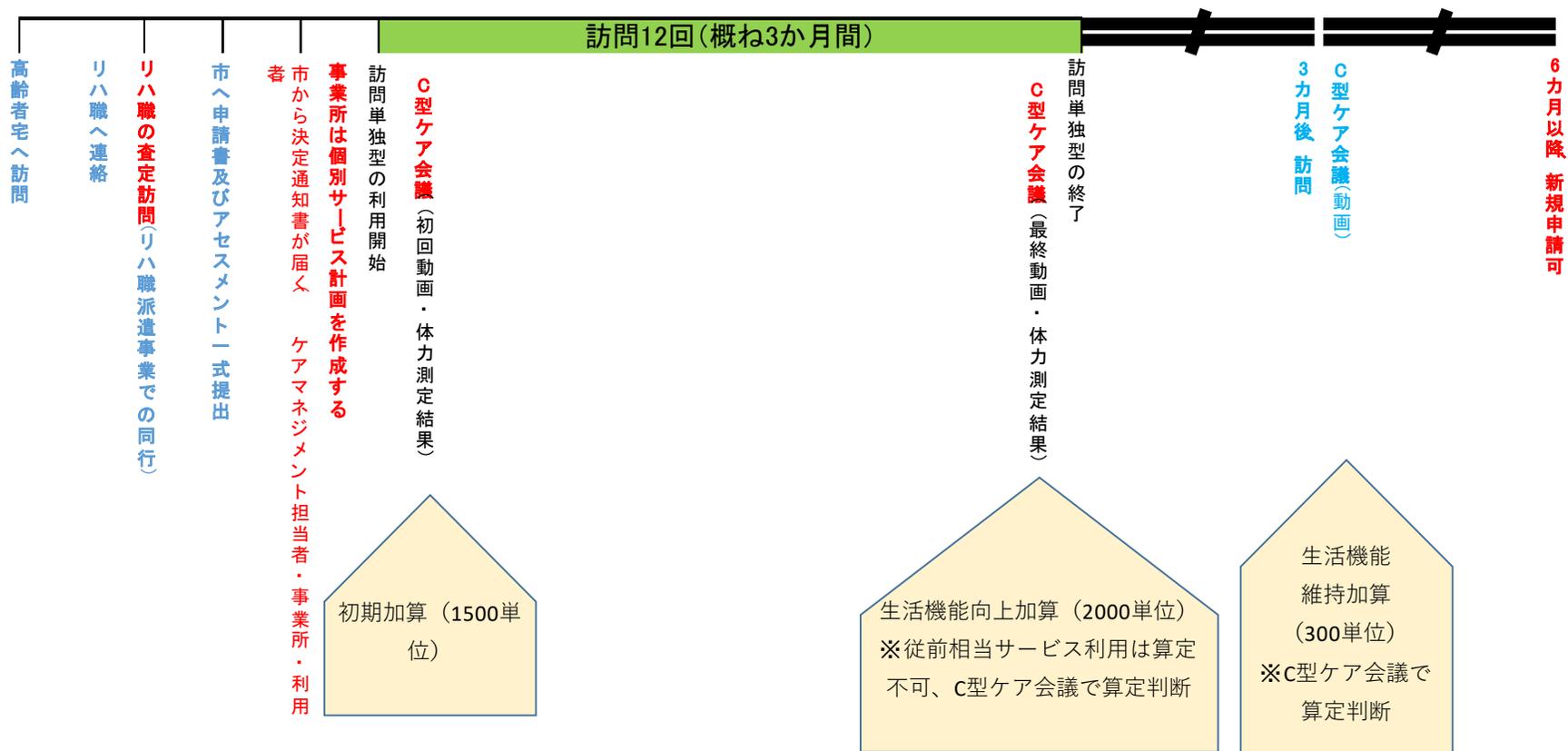
※C型ケア会議で加算の判断

加算一覧

加算名称	加算の内容	単位
初期加算	事業所のサービス提供の質の確保に対して評価するもの。 初回のC型ケア会議において、身体機能評価や生活課題動作等を動画にて事例提供した場合に算定できる。※動画はC型ケア会議と同月内に市に提出する必要あり。事業所が動画撮影	1500
口腔加算	事業所が必要に応じて歯科衛生士(看護師での代行可)による講話等の支援を行った場合に算定できる。 月1回算定可能。算定の際は指導書類等添付が必要。 ※同一敷地内の歯科衛生士派遣の場合は減算。	950 (500※)
栄養加算	事業所が必要に応じて管理栄養士による講話等の支援を行った場合に算定できる。 月1回算定可能。算定の際は指導書類等添付が必要。 ※同一敷地内の管理栄養士派遣の場合は減算。	950 (500※)
生活機能向上加算	サービスを利用しフレイルからの脱却や生活動作の改善が図れたことを評価するもの。 C型ケア会議にて卒業判定が出た際に算定できる。 ※最終月の事例提供が必要。従前相当につないだ場合は算定不可。	2000
生活機能維持加算	サービス終了して3か月後の生活機能が維持されていることを評価するもの。C型ケア会議にて算定の可否の判断を行う。 ※プランナーが動画撮影	300

短期集中型サービス事業（訪問単独）の流れ

【訪問単独型】



(運動プログラムは毎回、必要に応じて栄養士・歯科衛生士の派遣)

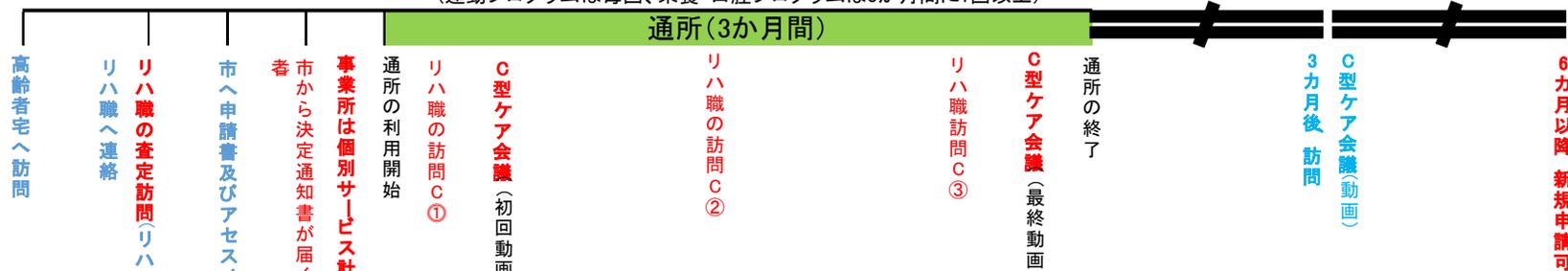
短期集中型サービス事業（訪問・通所）の流れ

事業所用

【通所・訪問一体型】

(運動プログラムは毎回、栄養・口腔プログラムは3か月間に1回以上)

通所(3か月間)



事業所は個別サービス計画を作成する

ケアマネジメント担当者・事業所・利用者

初期加算 (1500単位)

口腔・栄養加算
(専門職1名につき950単位、同一敷地内の場合は500単位)
1月に1回算定可能

生活機能向上加算 (2000単位)
※従前相当サービス利用は算定不可、C型ケア会議で算定判断

生活機能維持加算 (300単位)
※C型ケア会議で算定判断

・口腔または栄養加算を算定する場合は指導書類等の添付が必要
※派遣人数は利用者数が10人以下は1名のみ。10を超える場合は利用者の数を10で除した数以上とする(通所リハビリの専門職の人員基準参照)
個別指導を希望の場合はアセスメントシートを専門職に提供する

【C型サービスの利用状況】

直近の利用状況、空き状況を確認する時はこちらから。

<https://docs.google.com/spreadsheets/d/1qtclaSpoNDkCYi7AVQml62vuMUw4QeQ5SKjR1uTp-94/edit?usp=sharing>



対象者の具体例

- 軽度の脳梗塞等のほか、骨・関節疾患あるいは肺炎等により、一時的に体力や生活能力が低下した方
- 外出の機会が少なく、閉じこもり傾向な方
- 退院して間もなく身体機能の低下や在宅生活に不安が強い方
(認知症などの進行性疾患は効果が出にくいのでお勧めしません)



出来なくなっていたことができるようになる！

行きたかったところに行けるようになる！

元気になりたいという

(その人の望ましい姿で、その人らしい自立した生活)

合意形成

■対象：65歳以上（要介護1～5の認定なし）で、下記リストのうち、**3つ以上**の項目にあてはまり、日常生活に困りごとのある方(フレイルや廃用症候群)

- 階段をのぼるのに手すりが必要
- 椅子から立ち上がる時手すり杖が必要
- 15分続けて歩くことができない
- この1年間に転んだことがある
- 転倒に対する不安が大きい

0～2個
だった方

住民主体の、「元気！いきいき☆週一体操教室」や「サロン」へ参加しましょう。

3個以上だった方
※ただし進行性疾患の方は除く



週一体操
の詳細は
こちら

元気になるサービスとして「短期集中型サービス」をお勧めします。

●短期集中型サービスを利用したきっかけ
食事のときに、箸が持ちにくくなったため、病院を受診したところ、脳梗塞と診断され入院となりました。退院後は、握力や腕の力が弱ってしまったり、生活に不便を感じることにありました。リハビリをしてももう少し動けるようになりたかったことや、家族の心配もあったことが利用のきっかけです。

●リハビリについて
元々自分でしていたリハビリの内容を確認してもらい、追加した方がいい運動方法等を教えてもらうことができました。不安のあった入浴動作についても、楽な方法を教えてもらいました。

●短期集中型サービスを卒業して1年経った今
運動が習慣となり、今も続けています。目標としていたシルバー人材センターに復帰し、地域の週一体操教室にも参加しています。

【利用者の声】

77歳男

90日！なかつお元気プログラムの効果



(初回9月)



(最終12月)

短期集中型サービスC利用者の状況（R6年度利用した32人のまとめ）

<利用形態>

	人数	割合
訪問	6	18.8%
通所・訪問	26	81.3%
合計	32	100.0%

<性別>

性別	人数	割合
男性	8	25.0%
女性	24	75.0%
合計	32	100.0%

<年代>

年代	人数	割合
75歳未満	3	9.4%
80歳未満	9	28.1%
85歳未満	9	28.1%
90歳未満	3	9.4%
90歳以上	8	25.0%
合計	32	100.0%

6割以上は
80歳以上の
参加である

<利用結果>

	人数	割合
卒業	19	59.4%
継続（3か月以降）	3	9.4%
中止	6	18.8%
利用中	4	12.5%
合計	32	100.0%

終了後3か月の機能維持加算は100%！

利用者の2割の人は中止（転倒や内科疾患による入院）するが、**8割は卒業し、機能改善できている！**

